



國學院大學栃木短期大学
KOKUGAKUIN TOCHIGI JUNIOR COLLEGE

学報 斯花 【発行】 國學院大學栃木短期大学 【編集】 学報編集部
〒328-8588 栃木県栃木市平井町608番地 TEL 0282-22-5511 FAX 0282-22-5743
公式Webサイト <https://www.kokugakuintoshigi.ac.jp/tandai/>



第58期生136名に卒業証書・学位記を授与

第58回卒業証書・学位記授与式は、3月14日午前10時30分より、学園創立四十周年記念館を式場として、卒業生・教職員・保護者・代表の在学生が列席し、厳粛に執り行われる。

式は、国歌斉唱で始まり、後藤正入学長から各学科の総代に卒業証書・学位記が授与される。総代は、日本文化学科渡辺陽世さん、人間教育学科秋山恵美さんの両名が務める。後藤学長告辞に続き、斯花会を代表して前橋陽子さんより祝辞をいただく。在学生を代表して新学生会長春川由侑さん（日本文化学科1年）が卒業生に送辞を述べ、これに応じて、卒業生を代表して、渡辺陽世さん（日本文化学科）が答辞を述べる。続いて川福基之理事長より佐々木賞が授与される。この賞は、佐々木周二学園長記念奨学金制度を基に作られたもので、各学科の成績・人物ともに優秀な卒業生に対し賞状とブロンズ像（二科会員・鷺崎直子本学元教授制作）が授与される。今年度の受賞者は、日本文化学科渡辺陽世さん、人間教育学科秋山恵美さんである。式歌斉唱「上げは尊し」の後、卒業生よりの記念品目録が、前学生会長戸井田久苗さん（日本文化学科）から後藤学長に手渡される。校歌斉唱、式歌「蛍の光」斉唱により閉式する。式終了後、フィールドごとに会場を移し保護者が見守る中、卒業生一人ひとりに卒業証書・学位記が手渡される。

卒業生はこの2年間、さまざまな思いで過ごしてきたことと思うが、「未来はここから」である。未来に向かって道を切り拓くべく社会に向けて羽ばたいてくれることを願っている。教職員一同、卒業生一人ひとりに想いを込めて、ご卒業おめでとうございます。

第58期生卒業生数は、日本文化学科94名、人間教育学科42名、総数136名であり、第1期生から通算25,359名となる。

贈る言葉

「グローバル・シチズン」

学長 後藤 正人

災害が起こる度に人同士の絆が生まれ、他者への貢献の輪が広がっていきます。皆さんは、今まで自分の未来のために知識を積み重ね、ようやく行動するためのスタートラインに辿り着きました。これからは、今まで獲得した知識を人のため・世のために役立て、世界的な視野で物事を考え行動できるグローバル・シチズンを身に付けた人になっていただきたいと願っています。哲学者アリストテレスは、『知識は行動の出発点であり、行動は知識の完成である』と言っています。また、ヘレンケラーは『成功の反対は失敗ではなく、挑戦しないことである』とも言っています。挑戦は、未知の世界に繋がる扉です。開くことが困難な扉に対しても、自分を信じて半歩でもいい前へ進んでみてください。きっと多くの可能性が広がる未来へ繋がる大きな第一歩となるはずです。本学の「建学の精神」の根幹に「告諭」があります。皆さんが斉唱する校歌からもその精神は、令和の時代にも適用する教えだということを読み解くことができます。ご卒業おめでとうございます。

未来へ向けて羽搏け

日本文化学科長

教授 寺崎 宣昭

これから新しい未知の世界へと旅立っていくみなさんへ、卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げたいと思います。

みなさんにとって、新しい世界とはどんな世界なのでしょう。期待と希望と、そして多分ほんの少しの不安を抱いて待ち望んでいるのではないのでしょうか。心から面白いと感じる何かをみつけに、生きる喜びを感じる何かをみつけに、まだ

見ぬ新しい世界へと羽ばたいていってください。未来へ向かって。そこにはきっと、充実した楽しい日々が、あなたを待っています。

私もみなさんたちと一緒に、35年間過ごした國學院大學栃木短期大学を卒業いたします。学生と共に過ごした歳月は、いつまでも私の心のなかに想い出として残っています。幸せで、心豊かな人生であることを、これからもずっと祈念しています。

卒業おめでとうございます

日本文学フィールド代表

教授 大山 尚

卒業おめでとうございます。人生は「こんにちは」と「さようなら」の連続です。皆さんは今、短大に「さようなら」を告げ、新しい世界に「こんにちは」をする瞬間に立っているとよいでしょう。

これから出会う人々や経験は、きっと皆さんの人生を豊かにしてくれるでしょう。しかし、新しい環境では不安や戸惑いを感じることもあるかもしれません。そんな時は、これまでの努力や支えてくれた人々の存在を思い出し、自信を持って歩んでください。

別れがあれば出会いがあり、そのたびに成長していくのが人生です。どんな時も前を向き、自分らしく進んでください。皆さんの未来が素晴らしいものであることを心から願っています。

倒れるときは前のめり

教授 津島 昭宏

精一杯やったのだけれど、力になれなかった。それは素直に謝りたい。みなさんは何も悪くない。力になりたいなどと思うこと自体、思い上がりもいいところなのだけれど。でも、結果として裏切ったのだから愧じるほかない。

みなさんが高みを目指して努力したこと、誇っていい。もちろん、目指すところが見つからずに苦しんだ人もいた

う。でも、それはそれでちゃんと糧となっている。全力で走り抜けたと思えるなら、それで十分だ。

むしろ、みなさんには感謝すべきかもしれない。卑怯者や狡猾者を軽蔑する、その若さ、誠実さをあらためて教えてくれたのだから。卒業おめでとう。

贈畢業生

教授 塚越 義幸

學業無涯今惜春

師徒磋琢情如辰

前途鵬翼三千里

柳眼飛花氣色新

學業無今春を惜しみ、

師徒磋琢して情辰の如し。

前途は鵬翼三千里、

柳眼飛花氣色新たなり。

共に学業を切磋琢磨してきて、

お互いの思いは通じていますね。

前途は大鵬が三千里を飛び回るように

洋々として、

柳も桜も皆さんの今後の活躍を祈っています。

より良い未来へ

言語文化フィールド代表

教授 秋山 誠一

今年はゼミで『日本経済30年史』を読みましたね。それは過去を知るだけでなく、未来を見通すための重要な武器となるからです。過去の歴史を知ることは、「だから仕方がないよね」と諦めるためのものではありません。私たちは自分たちがどこから来たのかを知ることで、過去の過ちと決別し、踏み間違えないように足元を見つめながら、自分の思った目的地に向かって、自分で道を切り拓いてゆくことができるのです。社会に出ると、学生時代の本を読み、いろいろ考える時間があつたことを懐かしく思うでしょう。いつ訪れるか分からないその瞬間のためにバックやポケットに新書・文庫を入れておいてください。今までとは違うより良い未来を作る君たちへ。

卒業おめでとうございます

日本史フィールド代表
教授 坂本 達彦

皆さんが本学に入学した2023年度は、前年末にChatGPTが発表されたこともあり、生成AIという言葉を目にする機会が増えてきた時期でした。それから2年、技術はさらに進歩しました。しかし、生成AIも完璧ではありません。例えば、古文書解読アプリです。皆さんも使ったことがあるかもしれませんが、正確な解読はまだまだですし、専門家でも100%正確な解読が困難である以上、生成AIにも不可能でしょう。技術が進化すればするほど必要になるのは、その間違いを見つけ修正する専門知です。この2年間で、皆さんは歴史学を事例に専門的な勉強をする訓練をしました。卒業後はこの経験を活かし、必要な専門知を身につけながら、豊かな社会人生活を歩んでください。

元気でやれば何でも出来る

准教授 内山 京子

これはアントニオ猪木ではなく、「ダルマ宰相」として親しまれた高橋是清が小学生に送った言葉です。

猪木の「元気があれば」と違い、「元気でやれば」という所がなんだか好きで、そんなに元気がないけれど、どうしてもやらなければいけないことがある時に時々思い出します。高橋是清の愛らしい顔とあいまって、空元気で何とかなる時もあります。

元気なふりも出来ない時はゆっくり休み、時には開き直り、誰かに頼りつつ、楽しく人生を切り拓いていってください。歴史学を通して培ってきた思考力や伝達力が、少しでも役に立ちますように。

ご卒業おめでとうございます。

卒業の春

准教授 渡辺 瑞穂子

春は、出会いと別れを象徴する季節であり、花咲く喜びを謳歌する時を意味します。また、暦の上では、節分の翌日である立春から五月初旬の立夏までの季節をさします。つまり、実際の気候では、まだ冬の様な寒さを感じる季節が長く、花が咲き、新緑の初夏が訪れる迄の期間です。人の一生を春秋に例えた時、今が人生で春と呼べる時期なのか、皆さんには分からないかも知れません。辛い事や悲しい事もあるでしょう。しかし、年を経ていつか短くての日々を思い出す時、戻らない場所を懐かしみ、皆で共に過ごして学んだ事は、かけがえのない宝物になると思います。この日が佳き門出となりますように。ご卒業を心より祝します。

夢を信じて、一歩ずつ

人間教育学科長

教授 山内 見和

御卒業おめでとうございます。

この晴れの日を迎えることができたのは、努力と、周りの支えがあったからこ

そだと思います。振り返れば、楽しいことだけでなく、困難な瞬間もたくさんあったでしょう。しかし、そのすべてがあなたを成長させ、今のあなたを作り上げたのだと思います。

これから新たな道を歩み始めるにあたり、不安や恐れがあるかもしれませんが、挑戦を恐れず、自分の信じる道を進んでください。どんなに小さな一歩でも、その一歩が未来を切り開く力になるはずです。そして、自分を信じ、前を向いて歩いていってください。

未来に幸多きことを願っています。

自ら感得し学ぶ

子ども教育フィールド代表

教授 都留 覚

「人間は、自ら感得し学ぶ姿を示すのであり、生まれながらにして学習者である」

これは、幼児教育思想の先駆者であるフリードリッヒ・フレーベルの言葉です。ここでの「感得」とは、感覚器官を通して内面的なものを外的に、外的なものを内面化し統一していくことであると考えられます。また、「学ぶ姿」とは、学ぶ者が気付き、発見し、変わっていくこと、そして、成長していく姿であり、学ぶ者の主体性が育っている姿であるといえます。つまり、学ぶ姿とは、自ら能動的に活動する姿といっても過言ではありません。

卒業に際し、再度この言葉を噛み締めたいと思います。

卒業おめでとう

准教授 島田 芳行

本学で過ごした2年間、皆さんは何を学び、何度、自分の生き方を問い返したでしょうか。そして、今、自分の生き方や進むべき道の選択に満足していますか。

皆さんの中には、國學院大學に編入する方、教職に就く方、子ども関係の仕事に携わる方など様々です。それぞれの選択の中で、常に目的意識をもち、モチベーションを高めながら積極的に行動してください。チャレンジするからこそ壁にぶつかり、それを乗り越えるからこそ、新たな自分に出会うことができます。

昔から私たちの生活の中で大切にされてきた「仁」「智」「礼」。人としての大切なことを忘れず、自らの人生をより豊かにして下さることを願っています。

尊重する心

准教授 出井 芳江

卒業の時を迎えた今、皆さんには2年間で培った学びを“実践に繋げていく力”が確実に備わっています。これからは、教育者や保育者としての専門性を磨き、子どもたちと向き合ったり、時には一緒に同じ方向を見たりして、自らも成長できる努力をしていってほしいと思います。

もう一度、『子どもの権利条約』を読んでみてください。尊重する心を忘れる

ことなく真摯に関わり、その出逢いを大切にしてくださいね。

新たなスタートに際して、心よりお祝いの言葉を送ります。

ご卒業おめでとうございます。

晴れの門出にあたり

生活健康フィールド代表

教授 仲田 郁子

ご卒業おめでとうございます。先日来、地域で活躍する人材を多く輩出してきた本学が、この先新しい学生を迎えられなくなることを、寂しく残念に思っ過ぎてきました。でも今日それ以上に、皆さんがこの場所で学び、成長し、こうして誇り高く巣立っていくことを心から嬉しく思います。本学で過ごした時間が、皆さんの未来を支える力になると信じます。ここで得た知識、友情、経験は、皆さんが歩む人生の中で輝き続けます。そして、その輝きこそが、私たち教員にとって何よりの誇りです。どうか、この学び舎で育んだ想いを胸に、新しい世界へと羽ばたいてください。皆さんの未来が、希望と笑顔に満ちたものになることを、心から願っています。

自分の選択を正解にする人生!

講師 永瀬 由美子

ご卒業おめでとうございます。皆さんとお会いして、あっという間に2年間が過ぎてしまいました。皆さんは、本学で何を学び、何を学んだのでしょうか。入学当時の想いは、今も持ち続けていますか。

これからの人生「自分の選択はこれでいいの？」と迷い、動けなくなることもあると思います。「正解の道を選択するのではなく、選択した道を正解にする」これは、サッカー選手の長友佑都さんの言葉です。人生には明確な正解はありません。どのような選択をしたとしても、その選択を自分の意思と努力によって人生を形作るという視点を持つと、どの道を選んでも自分自身の成長と幸せにつながる道に変えていけるのです。自分を信じて新しい道を歩んでください。



第59回 入学式 ～130名の新入生を迎えて～

第59回入学式は、令和6年4月5日四十周年記念館において執り行われた。新入生・ご家族の座席は間隔を空けて配置し、来賓は招かずに専任教職員のみが臨席して進められた。式に先立ち、高森良友事務長より新入生とご家族に向けて、2年間の短大生活を過ごすうえでの心構えと諸注意がガイダンスされた。

式は午前10時より大島澄子事務次長の司会により進められた。日本文化学科長寺崎宣昭教授の開式の辞に始まり国歌斉唱の後、後藤正人学長より新入生全員の入学を正式に許可する旨が申し渡され式辞が述べられた。つづいて在学生在を代表し、戸井田久苗学生会長（日本文化学科2年）が歓迎の辞を述べ、新入生代表田中美涼さん（日本文化学科1年）が「この日の感激を胸に、一日も早く学風に慣れ、勉学に勤しまいたい」と新入生宣誓の言葉を述べた。大塚伸一事務局長より、学園役・教職員の紹介、高森良友事務長より、1年生のクラス担任および新任教員の紹介があり、校歌を斉唱して人間教育学科長山内見和教授の閉式の辞により終了した。

式終了後、日本文化学科と人間教育学科に分かれ、新入生とご家族、教職員を交えて学科懇談会が行われ、学科長の挨拶、クラス担任と教科担当教員が紹介された。



奨学生11名・表彰者9名

故佐々木周二学園長記念奨学金を原資とする奨学金ならびに報奨金が20名に給付された。

授与・表彰式は令和6年5月8日西3号館大会議室において行われた。これまでの努力を称えとともに、今後の更なる向上に期待したい。

入学試験奨学生

日本文化学科1年生4名
成績優秀者育英制度奨学生

日本文化学科2年生5名
人間教育学科2年生2名

学生表彰制度による表彰者

日本文化学科2年生5名
人間教育学科2年生4名

1年生日光親睦旅行

令和6年4月23日、本学への入学の奉告と学業成就、健康安全の祈願と友人との親睦を深めることを目的として、1年生日光親睦旅行が行われた。

日本文化学科	人間教育学科
日光東照宮	日光東照宮
日光二荒山神社	日光二荒山神社
日光山輪王寺 三仏堂・大猷院	日光田母沢御用邸 記念公園



日光東照宮五重塔

1年生観劇会

長年に亘り、国立劇場（東京都）における「歌舞伎鑑賞教室」の鑑賞を継続してきたが、令和5年10月末より国立劇場の再整備事業のため閉場となったことを受け、令和5年秋に劇団四季のミュージカルを鑑賞することを決定した。

観劇会は、令和6年6月27日四季劇場【秋】において「ゴースト&レディ」を鑑賞した。会場では、そのストーリー性と表現力の豊かさ終始魅了され、涙を流す人も。後日学生に感想を尋ねると「感動した」「また見たい」という言葉が多数聞かれた。

高校教員対象入試説明会

令和6年6月6日、高等学校の進路指導担当の先生方を招いて、令和7年度の入試説明会を西3号館大会議室において開催し、17校の参加があった。

OPEN CAMPUS 2024

令和6年3月23日、5月25日、6月22日、7月13日、8月3日・31日の6回、学生スタッフの協力を得て、いずれも土曜日に開催した。新コーナー「卒業生によるトークセッション」を設け、各学科の卒業生に実体験をお話いただいた。来場された方々に本学の魅力を多角的に体感していただいた。



学生スタッフの皆さん

体育祭【学生会主催】

令和6年5月15日、学生同士の交流を深めるとともにスポーツを通してリフレッシュすることを目的に、バレーボール、ドッジボール、綱引きの3種目が行われた。結果は、バレーボール男子：人間教育学科、バレーボール女子：子ども教育フィールドA、ドッジボール男子：Cチーム、ドッジボール女子：



2階席からも大きな声援

Cチーム、綱引き（混合）：人間教育学科がそれぞれ優勝した。ドッジボールのチームは、フィールドを超えたチーム編成であった。

漢陽女子大から3名の留学生

本学と漢陽女子大で平成25年6月に締結された『交換学生プログラムに関する協約書』に基づき、令和6年4月～8月まで実務日本語科のオムダヨンさんが、令和6年9月～令和7年2月まで同科のキムミンジュさんとチョヨンウォンさんが言語文化フィールド2年に所属して学び、日本の文学や文化、習慣について理解を深めた。

授業見学会

令和6年4月29日（月）、7月24日（水）、9月23日（月）のそれぞれの1・2時限目の授業を公開した。キャンパスツアー、相談コーナー、学食体験（無料）など、在学生がどのように学生生活をしているかを理解する機会となった。

中学生・高校生のためのサマースクール

令和6年8月2日、中学生・高校生のためのサマースクールが行われた。今年は日本史フィールドに加え、生活健康フィールドの講義が行われ、4講座が開設された。

2026(令和8)年度以降の学生募集停止について

日頃より学校法人國學院大學栃木学園、國學院大學栃木短期大学の教育活動に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび学校法人國學院大學栃木学園は、2024年(令和6)年9月3日の理事会におきまして、國學院大學栃木短期大学の2026(令和8)年度以降の学生募集を停止することを決定いたしました。

國學院大學栃木短期大学は1966(昭和41)年4月の開学以来、國學院大學の建学の精神のもと、時代の趨勢に応じ学科を増設、あるいは編成替えをしながら人材の育成に努めて参りました。これまでに25,223名(2024年5月現在)の卒業生を輩出し、社会で活躍する人材の育成に貢献してきたと自負しております。

しかし、18歳人口の減少や四年制大学志向の強まりなど、近年の社会状況の変化による影響は極めて大きく、本学とて例外ではありません。全国的に短期大学への志願者は減少の一途をたどり、志願者及び入学者の減少は止まらず今後も学生の確保は難しいと判断し、2025(令和7)年度入学生を最後に、2026(令和8)年度以降の学生募集を停止する決断に至りました。

國學院大學栃木短期大学の学生募集については、2025(令和7)年4月入学生が最後となりますが、2025(令和7)年度入学生を含むすべての在学学生に対しては、卒業に至るまで現在の教育環境を継続し、学生生活や進路・就職の支援等についても、これまで同様に教職員一同全力を挙げて取り組む所存です。

在学生、保護者、卒業生の皆さま、高等学校をはじめとする諸教育機関、地域の皆さま、短期大学を支えてくださった全ての皆さま、これまでのご理解とご支援に衷心より感謝申し上げます。そして、2026(令和8)年度以降の学生募集の停止に至りました事情をご賢察いただき、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

令和6年9月3日

学校法人國學院大學栃木学園 理事長 川福 基之
國學院大學栃木短期大学 学長 後藤 正人

奉告祭・永年勤続者表彰

本学園がこの太平台に昭和35年10月9日に建学されてから今年で64周年を迎えた。令和6年10月11日に奉告祭および永年勤続表彰が行われた。感染症防止の観点から、創立記念式が中止され、奉告祭のみ執り行われた。学園本部代表者が参列して、太平山神社において小林宣彦宮司を祭主として、この一年間の無事を感謝するとともに、学園の平安が祈られた。

また、同日午後、本館第2会議室において永年勤続表彰が行われた。今年度は、30年勤続2名、20年勤続4名、10年勤続5名が表彰され、短期大学関係者では2名が表彰された。

西3号館机・椅子の入れ替え

令和6年8月19日から23日にかけて、西3号館4階第1・2・3演習室、6階631・632・633講義室、7階731・732・733・734・735講義室で使用されていた2人掛けの机669台と椅子1,338脚が、3人掛けの机291台と椅子873脚に入れ替えられた。西3号館が完成した平成2年より約34年間使用し、経年劣化により、学生の勉学にも支障を来たしていた。毎年実施している学生生活実態調査における、机・椅子の入れ替えを望む学生の声に応えたものである。



入れ替えが完了した734講義室

第56回斯花祭



「いちご学」の学びを活かしたレジン体験



ポスターデザイン 森邊歩さん

第56回斯花祭が「光彩～夢を照らす～」のテーマのもと、10月26日(土)12時00分～16時00分、10月27日(日)9時00分～15時00分に開催された。

今年は同窓会斯花会主催のホームカミングデーが2日目に同時開催され、卒業生の参加が例年よりも多く、斯花祭が賑わいを見せた。

斯花祭実行委員会企画として、土佐兄弟・リングカラー∞による「お笑いLIVE」が行われ、オープニングアクトとして、栃木市の和太鼓チーム「栃木蔵太鼓」の皆さまにご協力いただいた。

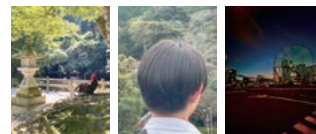
フォトコンテスト2024

学生委員会主催の恒例イベント「國栃フォトコンテスト2024」が行われた。投稿受付期間は9月22日から10月15日までとされ、学生18作品、教職員5作品が応募された。斯花祭来場者による投票により、最優秀賞1作品、優秀賞3作品、入賞5作品が決定した。受賞者には後日賞品が贈られた。

最優秀賞



優秀賞



日本文化学科

●…………… 日本文化学科講演会 ……………●



日本文化学科講演会が令和6年11月13日、四十周年記念館で開催された。講師に國學院大學教授大石泰夫氏をお迎えし、演題は「万葉集を解釈する」と題して行われた。講演後には学生が質問をしたり、レポートにさまざまな感想や意見が書かれたり、反応も上々であった。

●…………… 教育実習報告会・引継ぎ会 ……………●

日本文化学科の教育実習報告会・引継ぎ会が令和6年12月21日に735講義室で実施された。報告会では、2年生が自らの経験を基に、教育実習の内容や取り組み方等についての説明を行った。1年生を生徒に見立てて模擬授業を行いながら、授業のねらいと振り返りの大切さや主体的・対話的な深い学びを意識した学習指導の工夫等について熱く語った。その熱意に1年生も大きな刺激を受けていた。



引継ぎ会では、小グループに分かれて2年生の体験談を聞いた。1年生は、指導教員との関わり方や生徒との接し方、部活動指導の参加の有無など、自分の疑問や悩みを率直に質問し、教育実習への意欲を高めていた。

●…………… 卒業研究発表会 ……………●

令和7年2月5日、日本史フィールド卒業研究発表会が、1・2年生全員参加のもとに735講義室において開催された。各ゼミの代表者7名の口頭発表と、他の2年生全員による



ポスター発表が行われた。併せて、栃木県大学地域連携活動支援事業成果報告も行われた。

各ゼミ代表者の発表は、次の通り。

【考古学】 渡辺 陽世 「諸磯式土器の文様構成」

【古代史】 宮崎 玲奈 「古代女性官僚の勤務実態」

【中世史】 中村 風香 「足利持氏の大将型近臣と吏僚型近臣の分析—永享の乱勃発の要因をめぐって—」

【近世史】 池田英美里 「江戸の大火に関する研究 —災害情報の伝達と復興を中心に—」

【近代史】 俵木 佑大 「大平内閣組閣前後の各派閥の動向—人事問題を中心に—」

【外国史】 桑久保舜永 「ヨーロッパ中世における騎士道の役割」

【宗教史】 島方 香奈 「国譲り神話における出雲と大和王権の関係性」

人間教育学科

●…………… 人間教育学科講演会 ……………●

令和6年11月20日、人間教育学科講演会が四十周年記念館多目的ホールを会場に開催された。栃木県レクリエーション協会理事及びレクリエーション・コーディネーターの柿沼友岐先生を講師に迎え「ホスピタリティを大切にしたいレクリエーション・ゲーム展開」と題し、学生同士のコミュニケーション・体力づくりが行われた。またホスピタリティを意識した展開のポイントを伝えることにより、相手との信頼関係を構築できるコツを修得するためのものである。保育者・教育者をめざす学生にとって、将来大いに役立つと感じる内容であった。



●…………… 教育実習報告会・引継ぎ会 ……………●

子ども教育フィールド、小幼専攻の「教育実習報告会・引継ぎ会」が令和6年10月16日に、幼保専攻の「教育・保育実習報告会・引継ぎ会」が12月11日に開催された。それぞれの報告会では、2年間にわたる小学校・幼稚園での教育実習と、保育所・児童福祉施設等での保育実習について2年生が実習での学びと経験を先輩の1年生へ発表した。その後、引継ぎ会では小グループに分かれ、2年生から1年生へ詳細な引き継ぎが行われ、実習を目前とする1年生には得難い経験となった。



●…………… 赤十字救急法・救急員養成講習 ……………●

令和6年12月23日・24日・25日の3日間、人間教育学科子ども教育フィールド2年小幼専攻学生と生活健康フィールド2年生を対象に日本赤十字社による「救急法基礎講習」「救急法救急員養成講習」があわせて3日間にわたり行われた。1日目の「基礎講習」では、赤十字救急法の理解・手当の基本・一次救命処置(BLS)等を学び、実技も含む試験合格者がさらに続けて、2・3日目に「救急員養成講習」を受講した。発展的知識と実技講習を学び、試験合格者には「赤十字救急法救急員」の認定証が授与された。



●…………… 幼児安全法支援員養成講習 ……………●

令和6年12月26日・27日の2日間では、子ども教育フィールド幼保専攻の1年生と2年生を対象に日本赤十字社による「幼児安全法支援員養成講習」が実施された。乳幼児の対応に必要な知識と実技を2日間で学んだ。学生は2日間の講習に真摯に取り組み、試験の合格者には「赤十字幼児安全法支援員」の認定証が授与された。

公開講座

令和6年度は11種類の公開講座を開講した。申込数は延べ444名にのぼり、乳幼児から高齢の方まで幅広い世代の皆さんに受講していただいた。本学の教育と研究の成果を地域社会に還元するとともに学びの場を提供することができたことは何よりである。

古文書をよむ ～十七世紀の幕府法令（生類憐みの令など）～ 15時00分～16時30分 学園教育センター		
5月22日・5月29日・6月19日・6月26日 坂本 達彦 教授		
古文書をよむ 近代皇族と家令の世界 15時00分～16時30分 学園教育センター		
10月23日・10月30日・12月4日・12月11日 内山 京子 准教授		
日本文学フィールド公開講座 大河ドラマを読む 11時00分～12時30分 学園教育センター		
8月21日	大河ドラマと図書館の関係 ～市民の楽しみへの入り口は図書館にあり!?～	岩井 千華 准教授
8月22日	鎌倉幕府草創の舞台裏 ～栄えるもの・滅びのもの～	菱沼 一憲 教授
8月23日	情報社会における大河ドラマの最新事情 ～楽しさの秘密は「拡張」にあり～	森岡 宏行 准教授
8月28日	史実とそれを取り巻く物語	岩淵 真未 講師
8月29日	王朝ラブロマンスの描かれ方 ～大河ドラマ「光る君へ」をめぐる～	津島 昭宏 教授
8月30日	信長、桶狭間の合戦前夜の舞	伊藤 慎吾 教授
日本文学フィールド公開講座 葡萄と日本文学 11時00分～12時30分 学園教育センター		
2月8日	平安文学における「葡萄（えび）」	津島 昭宏 教授
2月15日	図書館で本を見つける発想法 ～「ぶどう」をキーワードとして～	秋山美和子 准教授
2月22日	俳諧に見える「ぶどう」 ～芭蕉を中心に～	塚越 義幸 教授
3月1日	西洋葡萄がもたらしたもの	岩淵 真未 講師
3月8日	天狗は何を食べるのか ～天狗小僧寅吉の話～	奈良場 勝 講師
3月15日	江戸の葡萄酒とその仲間たち	伊藤 慎吾 教授
日本史フィールド公開講座 平安時代～雅と政治と生活～ 10時30分～12時00分 学園教育センター		
6月29日	源氏物語の世界	津島 昭宏 教授
7月6日	発掘でわかった平安時代	大工原 豊 准教授
7月20日	平安時代の受領～紫式部の父～	中 大輔 准教授
7月27日	平安時代の合戦～武士の出現をめぐる～	菱沼 一憲 教授
日本史フィールド公開講座 江戸時代の出版文化～娯楽・遊興世界をたどる～ 10時30分～12時00分 学園教育センター		
10月19日	江戸の出版事情	坂本 達彦 教授
11月9日	江戸時代の信仰と文芸	渡辺瑞穂子 准教授
11月16日	娯楽読み物「くらくた合戦」 ～版本・写本入り乱れ～ (付)伊藤コレクション展示解説	伊藤 慎吾 教授
12月7日	明治維新期の出版文化～小新聞と錦絵～	内山 京子 准教授
人間教育学科 小学生のための國栃☆夏休み応援講座 本学		
7月29日 9時30分～12時00分	〈社会×音楽〉日本初のコラボ講座 みて、さわって、つくろう！ 縄文土器 DOKI 音楽づくり♪	早川富美子 教授 国立歴史民俗博物館 中村 耕作 准教授
7月30日 10時30分～12時00分	バッグをつくるう！ミシンで縫おう！ 手ぬぐいでオリジナル・MYエコバッグを作ろう！	仲田 郁子 教授
7月30日 13時00分～14時30分	楽しい食品科学実験 色が変わるびっくりホットケーキ！	真田知恵子 准教授
國栃☆芸術の秋 アートを楽しもう！ 10時00分～12時00分 本学		
11月2日	アートセラピー～臨床美術～	後藤 聡子 講師
11月16日	いちご染・ぶどう染	名取 初穂 教授
冬の子育て支援講座 11時00分～11時45分 本学		
12月7日	親子で楽しく♪リトミック	阿久津清美 講師

国学院大学 栃木短期大学 公開講座

高校生も歓迎！

いちご学

食としてのいちごだけでなく
いちごの歴史やいちごの文化
「いちご」を学ぼう！

参加費 無料

13:00～13:30 基調講演 栃木県農業総合研究センターいちご研究所
産学連携でパネルディスカッション
13:40～14:30 基調講演 栃木県農業総合研究センターいちご研究所
パネリスト 栃木県農業総合研究センターいちご研究所
自中員田（予定）、真田 知恵子（本学教員）

14:40～15:30 講演
①いちごの歴史 伊藤 慎吾（本学教員）
②いちごの文化～いちごはいつから実を結ぶようになったのか？～
伊藤 慎吾（本学教員）
③いちごの生産 栃木県農業総合研究センターいちご研究所
研究部長 塚中 達彦 氏
④ブレ！いちご染め 名取 初穂（本学教員）
総合司会 山内 真樹（本学教員）

*内容は変更になる場合があります。
*お車でお願いします。近隣の有料駐車場をご利用ください。（各自負担）

申し込みは要またはQRコードからお申し込みください。
お車の場合は参加される方の氏名、住所、電話番号、希望される講座（～）を
お書きください（厳文書まで）、下記住所宛にお送りください。
〒328-8588 栃木県栃木市平井町608
☎0282-22-5511（代表） 栃木市教育委員会後援

国学院大学 栃木短期大学 公開講座

高校生も歓迎！

ぶどう学

食としてのぶどうだけでなく
ぶどうの歴史やぶどうの文化
“ぶどう”を学ぼう！

参加費 無料

13:00～13:30 基調講演 栃木市の産地
栃木県株式会社 代表取締役 松倉 敬士 氏

13:40～14:30 講演 I
I-① 小畑一夫ぶどう園～見た目が違うけどこうなった～
小畑一夫ぶどう園 小畑 真樹 氏
I-② 近代日本のあひねりとブドウ栽培
塚中 一憲（本学教員）

14:40～15:30 講演 II
II-① おどろきぶどう少女・イタメンよりもセンターが面白
伊藤 慎吾（本学教員）
II-② UVレジンで作るぶどうのストラップ
山内 真樹（本学教員）

*内容は変更になる場合があります。
*お車でお願いします。近隣の有料駐車場をご利用ください。（各自負担）

申し込みはハガキまたは本学WEBサイト、
QRコードからお申し込みください。
〒328-8588 栃木県栃木市平井町608 ☎0282-22-5511（代表）

	実習先		学校 依頼 (名)	個人 依頼 (名)	合計 (名)
	中 学 校	国語 社会 家庭			
2年生	国語		5	4	9
	社会	14校	1	3	4
	家庭		1	0	1
	養護	14校	11	4	15
	幼稚園	13園	13	0	13
1年生	小学校	7校	5	2	7
	保育所	10園	10	0	10
	福祉施設	9施設	14	0	14
	幼稚園	5園	20		20
保育所	11園	13		13	

学生会だより

学生会長 戸井田久苗 さん

卒業を迎えるにあたり、これまでの2年間を振り返ると、さまざまな思いが込み上げてきます。学内での生活はもちろん、短期大学での学生会活動は私にとって大きな意味を持つ経験でした。学生会の一員として、行事の企画や運営を通じて、仲間たちとの絆を深め、協力することの重要性を深く実感しています。最初は不安や戸惑いもありましたが、徐々に責任感が芽生え、皆で意見を出し合いながら問題解決に取り組むことができたことは私にとってかけがえのない思い出です。

また、卒業という事を意識してみると寂しさというものはありますが、短期大学での生活がどれほど充実したものであるかを再確認しています。限られた時間の中で多くの経験を積み、さまざまな人々と出会い、支え合いながら乗り越えてきました。特に私たちの世代は、新型コロナウイルスの影響で、中学・高校と卒業式を短縮した形で行われてきました。そのため今回きちんとした形で卒業式を迎えられることが何よりも嬉しく思います。式が執り行われるにあたって、背景にある進行・運営の方々はもちろん、2年間で関わりを持った全ての方々に、これまでの感謝を伝えたいです。

そして2年間のいろいろな経験を基に、卒業を通過点としてこれからも日々さまざまな学びを続けていきたいと思っております。



春花祭チョコレートアート



春花祭でのワンショット

令和6年度 学生会役員

会長	日本文化 2年	戸井田久苗
副会長	日本文化 2年	府中 陸胤
副会長	人間教育 2年	齊藤 陽菜
会計	人間教育 2年	鈴木 千裕
書記	日本文化 2年	宮澤 陽奈
	日本文化 1年	春川 由侑
	日本文化 1年	三室 和叶
	日本文化 1年	高貝 快理
	日本文化 1年	塚原 大智
	人間教育 1年	遠藤 萌菜
	人間教育 1年	渡邊 真衣

クラブ紹介

団体名	活動内容・メッセージ (令和6年度の活動内容など)
EFC時事問題研究会	経済学について、互いに知識を高めるため討論を行います。
華道部	草月流の生け花を通じて、日本の伝統文化に触れ、楽しみながら活動をしています。
漢詩の会	漢詩の創作を通じて、漢詩への関心意欲を高め、想像力や創造力を養います。毎年、部誌の刊行や大会への参加もしています。
近世史研究会	近世史について研究し、実地調査や見学などを行い理解を深めます。毎年、春花祭にパネル展示しています。
近代史研究会	近代史について研究しています。毎年、外部調査の成果を春花祭でパネル展示しています。今年は名古屋市市史資料館を見学しました。
軽音部	ギターやドラムの練習を通して、技術と協調性を高めます。他大学との交流、春花祭での発表に向けて練習しています。
考古学研究会	発掘調査及び考古資料の整理を行い、考古学についての理解を深めると共にワークショップ等で地域の人々との交流を図っています。
古代史研究会	古代史について個々に学びや研究を行います。研究内容の発表と評価を、顧問を交え学生同士で行っています。ゼミ旅行の成果を春花祭で発表します。
春花わーくす	物づくりを通して、楽しく活動しています。春花祭に参加し、プラ板・レジン・缶バッジ等を販売しました。
茶道部	裏千家の茶道を、師範のご指導のもと稽古に励んでいます。春花祭では、茶席を設けお点前を披露します。
室内楽研究会	様々なアンサンブル活動を通して、音楽的な技能を高めるとともに、地域での演奏にも力を入れています。
写真部	体育祭での撮影や撮影旅行に出掛けます。春花祭には写真展示で参加します。今年は、足利フラワーパークで撮影を行いました。
中世史研究会	博物館見学や夏期の見学旅行を通じ、授業以外で中世史の見聞を広めます。今年は金沢・福井方面を訪ねました。
博物館学研究会	博物館を見学し、展示方法や施設概要を学ぶと共に、その土地の歴史的建造物などを見学し、自身の興味分野を広げます。
美術工芸部	絵画や立体造形、工芸などの製作に取り組み、春花祭では作品展示・販売やワークショップを設けました。
文芸部	小説などを創作することにより、自己の表現と作品を周囲に発信する力を高めることを目的としています。春花祭では部誌を販売しました。
ペン字研究会	かな文字や履歴書などの綺麗な書き方を練習します。実用性のある美しい文字の書き方を身につけることができます。
簿記・会計研究会	簿記の基礎を学び、日商簿記検定試験合格や就職に役立つ資格取得をめざします。また、企業研究では計数的に把握して理解を深めています。
みたらし会	ボランティア活動を通して、社会貢献・福祉活動への関心を高めることに努めています。社会福祉施設の夏祭りなどで子どもたちと交流しました。
民俗学研究会	各地の民間伝承の調査や研究を行っています。今年は山形の山寺、茨城の牛渡鹿島神社へ民俗探訪の遠征調査を実施しました。
物と伝承の会	太平山神社の絵馬調査や文化財の調査を行っています。栃木市内で開催される歌麿まつりへの参加や春花祭でパネル展示を行っています。
弓道部	各々が弓の上達をめざし、日々稽古に努めています。
ダンス部	春花祭でステージ上演をしました。日々、体力作りとダンスの練習を行っています。
テニス部	テニスの技術力向上のために切磋琢磨しています。テニスを通じた学生生活の充実と健康作りをめざしています。
バスケットボール部	バスケットボールを通じてスポーツを楽しんでいます。
バドミントン部	経験者も未経験者もバドミントンを通じてスポーツを楽しんでいます。
バレーボール部	バレーボールを通じて体力作りに励んでいます。
学生会	学生主体で体育祭や春花祭に取り組むほか、学生生活の充実と寄与できるような活動をめざしています。

■ ■ ■ ■ ■ 斯花会 令和6年度の活動報告 ■ ■ ■ ■ ■

■ ■ 幹事会開催 ■ ■

令和6年7月13日、西3号館大会議室において幹事会が開催され、令和5年度決算および令和6年度予算(案)について、斯花会会則の改定について、斯花会創立60周年記念事業について、令和6年度の活動について協議された。これまでは学外において総会・懇親会が開催されることが多かったが、今年度は初めての企画として「ホームカミングデー」の開催が提案され、決議された。最後に斯花会奨学生について報告がなされ閉会となった。

■ ■ 奨学生3名採用 ■ ■

令和6年度の「斯花会奨学金制度」による奨学生は、3名の学生が奨学生として採用された。書類選考と面接を行い斯花会に推薦し、幹事会の議を経て決定した。令和6年12月4日、西3号館大会議室において斯花会会長の後藤正人学長より奨学生に採用通知が手渡され、授業料の一部として15万円が給付された。奨学生は次の通り。

日本文化学科 2年 島方香奈
1年 山本修誠
人間教育学科 1年 山口優華

令和5年度 斯花会収支決算書

【収入】	会費収入	4,410,000円
	受取利息	393,359円
	雑収入	0円
	斯花会奨学金準備金	
		1,200,000円
	緊急修学支援費	0円
	感染症対策費	0円
	卒業記念品代	427,000円
	前年度繰越金	73,763円
	合計	6,504,122円
【支出】	事務費	482,975円
	事業費	3,627,000円
	積立基金	2,300,000円
	予備費	0円
	合計	6,409,975円

令和6年度 斯花会収支予算書

【収入】	会費収入	4,200,000円
	受取利息	390,000円
	雑収入	20,000円
	斯花会奨学金準備金	
		1,500,000円
	緊急修学支援費	0円
	感染症対策費	0円
	斯花会補助費	1,900,000円
	卒業記念品代	600,000円
	60周年記念事業費	
	15,400,000円	
	前年度繰越金	94,147円
合計	24,104,147円	
【支出】	事務費	2,970,000円
	事業費	21,050,000円
	積立基金	0円
	予備費	84,147円
	合計	24,104,147円

■ ■ 初企画「ホームカミングデー」開催 ■ ■

斯花会として初企画となった「令和6年度斯花会ホームカミングデー」を令和6年10月27日(日)、第56回斯花祭2日目と同日に開催した。当日は、斯花会会員の皆さまをはじめ、在学生、保護者、教職員、一般の方など約700名にご来場いただいた。



受付の様子

斯花会総会

9時30分～10時00分、西2号館4階 SASaルーム(旧421教室)において行われた。会長の後藤正人学長の挨拶に始まり、令和5年度決算報告、令和6年度予算報告の後、次年度のイベント開催について意見交換が行われた。

特別講演会

10時30分～11時30分、四十周年記念館2階アリーナで開催された。エッセイスト、東京大学大学院情報学環客員研究員の小島慶子氏を講師に招き、「絶体絶命は打ち出の小槌～ピンチをチャンスにする発想法」と題して、ご自身の経験をもとにお話いただいた。

第11回やまなみ展



卒業生の力作の数々

卒業生で構成されている思川書人会による書道展「やまなみ展」は、4年に一度開催されているもので、今回で11回目となった。斯花祭の開催に合わせて10月26日(土)・27日(日)の2日間展示され、多くの方にさまざまな作品をご覧いただくことができた。

國栃ちよこっとマルシェ

地元栃木市内を中心に栃木県内の飲食店や企業の皆さまにご協力いただき、ソイクレープ、太平山名物卵焼きとおだんご、唐揚げ、いちごスムージー、餃子ドッグなど栃木ならではの味を堪能していただいた。



限定50食のお弁当

チョコレート体験

チョコレートスクールPUFFIN様のご協力のもと、四十周年記念館1階のブースで、来場者にその魅力を体験していただいた。制作された作品(写真掲載8ページ)は、西3号館渡り廊下に展示された。

オリジナルグッズ販売

海洋プラスチックを使用したボールペン、バイオプラスチックを使用した蛍光ペン、紙製クリアファイル、一筆箋、オリジナルラベルウォーターなどを販売した。環境に配慮したペンや学園全景をモチーフにしたグッズは大変好評であった。

同窓会サポート企画

空き教室を提供し、クラス、ゼミ、サークル等でお集まりいただき、学生時代を懐かしみながらのひと時をお過ごしいただいた。

お楽しみ大抽選会

特賞から5等まで設け、空くじなしで行われた。ジャンボガラポンをくると回して一喜一憂する様子は、とても楽しそうであった。



一喜一憂した抽選会場

初企画「斯花会ホームカミングデー」は盛況のうちに終了した。ご来場くださった斯花会会員、在学生、保護者、教職員、一般の皆さまに感謝するとともに、開催に際してさまざまな角度からご支援くださいました皆さま、学園関係者に深く御礼を申し上げます。

第57期生の進路

昨年卒業した第57期生の進路は次のとおりである。
就職先は名称を、進学先は学校名・学部・学科名を記載した。

- ◆製造業
 - 南鈴木工業
 - 栃木精工㈱
 - ㈱ヨコタエンタープライズ
- ◆電気・ガス・熱供給・水道業
 - ㈱足利ガス
- ◆情報通信業
 - シービーエス㈱
 - ㈱鶴見有職研究所
- ◆運輸業、郵便業
 - ㈱石島運輸倉庫
- ◆卸売業、小売業
 - ㈱東北むらせ
 - ㈱井口鉱油
 - ㈱かましん
- ◆宿泊業、飲食サービス業
 - サイゼリヤ
 - ミスタードーナツ
- ◆教育業 (幼稚園、認定こども園)
 - 愛隣幼稚園
 - 認定こども園國學院大學栃木二杉幼稚園
 - 認定こども園岩舟幼稚園
 - 認定こども園楠エンゼル幼稚園
 - 認定こども園栗の実幼稚園
 - 認定こども園駒生幼稚園
 - 認定こども園さくらが丘
 - 認定こども園しずわでら幼稚園
 - 認定こども園聖ヨゼフ幼稚園
 - 認定こども園都賀幼稚園
 - 認定こども園野ばら幼稚園
 - 認定こども園ひまわり幼稚園
 - 認定こども園みのり幼稚園
 - 認定こども園薬師寺幼稚園
 - 認定こども園やすづか幼稚園
- ◆教育業 (小学校教諭)
 - 国見町公立小学校
 - 泉崎市公立小学校
 - 五霞町公立小学校
 - 宇都宮市公立小学校
 - 鹿沼市公立小学校
 - 佐野市公立小学校
- ◆教育業 (中学校教諭)
 - 足利市公立中学校
- ◆教育業 (養護教諭)
 - 福島県公立高等学校
 - 桜川市公立小学校
 - 日光市公立小学校
 - 栃木県公立特別支援学校
- ◆教育、学習支援業
 - 郡山健康科学専門学校
 - 栃木市栃木図書館
 - 下野市公立図書館
 - 壬生町立図書館
 - 芳賀町総合情報館
 - ㈱インディゴエルク
 - 米山児童館

- ◆医療、福祉
 - インターパーク倉持呼吸器内科
 - 関根歯科医院
 - とちぎメディカルセンターしもつが
 - なかの歯科医院
 - まえた整形外科
 - みどり眼科クリニック
 - もちつき歯科医院
- ◆福祉業 (保育所・児童養護施設)
 - 上横田よつば保育園
 - こがねい保育園
 - コメット保育園
 - 少人数制キッズハウス保育園
 - しらとり保育園
 - すみれ保育園
 - フォレストキッズ保育園
 - 若木保育園
 - 児童養護施設アリスとテレス
- ◆複合サービス事業
 - 塩野谷農業協同組合
- ◆サービス業
 - ㈱Fortisio
 - ㈱KSP・EAST
 - ㈱アソウ・アルファ
 - ㈱ウィルオブ・コンストラクション
 - ㈱田村写真館天使の森
 - ㈱ニチイ学館
- ◆公務員
 - 栃木県公立中学校教諭 (家庭)
 - 芳賀町役場
- ◆編入学・進学 (学部・学科は編入学時の名称を表記)
 - 國學院大學
 - 文学部日本文学科
 - 文学部史学科
 - 神道文化学部神道文化学科
 - 経済学部経済学科
 - 経済学部経営学科
 - 人間開発学部初等教育学科
 - 共立女子大学
 - 文芸学部日本語・日本文学専修
 - 埼玉学園大学
 - 人間学部子ども発達学科
 - 聖徳大学
 - 心理・福祉学部心理学科
 - 二松學舎大学
 - 文学部国文学科
 - フェリス学院大学
 - 文学部日本語日本文学科
 - 日本大学
 - 通信教育学部日本文学専攻
 - 杉野服飾大学
 - 服飾学部服飾学科
 - 筑波研究学園専門学校
 - 公務員受験対策科

第58期生編入学速報 國學院大學および私立大学編入学 計51名合格 (令和7年2月20日現在)				
大学名称	学部	学科	短期大学学科	合格者数
國學院大學	文学部	日本文学科	日本文化学科	系列 10名
		史学科	日本文化学科	系列 10名 一般 4名
	神道文化学部	神道文化学科	日本文化学科	系列 3名
	経済学部	経済学科	日本文化学科	系列 2名
		経営学科	日本文化学科	系列 2名
人間開発学部	初等教育学科	人間教育学科	系列 4名	
関東学院大学	人間共生学部	共生デザイン学科	日本文化学科	指定校 1名
	法学部	地域創生学科	日本文化学科	一般 1名
	国際文化学部	比較文化学科	日本文化学科	一般 1名
杏林大学	外国語学部	英語学科	日本文化学科	協定校 1名
	総合政策学部	総合政策学科	日本文化学科	協定校 2名
駒沢女子大学	人間総合学群	人間文化学類	日本文化学科	指定校 1名
聖徳大学	心理・福祉学部	心理学科	日本文化学科	指定校 1名
松蔭大学	コミュニケーション文化学部	日本文化コミュニケーション学科	日本文化学科	一般 1名
大正大学	文学部	歴史学科	日本文化学科	指定校 1名
鶴見大学	文学部	文化財学科	日本文化学科	一般 2名
帝京大学	文学部	日本文化学科	日本文化学科	一般 1名
二松學舎大学	文学部	国文学科	日本文化学科	指定校 1名
		中国文学科	日本文化学科	指定校 1名
目白大学	社会学部	地域社会学科	日本文化学科	指定校 1名

事 報

■ 人 事 ■

- 任 客員教授 令和6年4月1日付
 - 古口 崇 佐伯 由江
 - 佐伯 良一 村上侑美枝
- ◆昇任 令和6年4月1日付
 - 任 教授 (准教授) 伊藤 慎吾
 - 同 (准教授) 名取 初穂
 - 任 教務課主任 (書記) 田嶋 和美
 - 任 学生課主任 (書記) 野口 貴子
- ◆新任 令和6年4月1日付
 - 任 准教授 (図書館概論) 秋山美和子
 - 同 (図書館情報技術論) 岩井 千華
 - 同 (スポーツ健康科学) 長谷部せり
 - 同 (調理学) 張替 泰子
 - 任 講師 (日本語表現法) 三浦さつき
 - 委嘱非常勤講師
 - 同 (保育内容の理解と方法体育) 小野 寛久
 - 同 (介護論) 小野 幸男
 - 同 (心と美術) 後藤 聡子
 - 同 (教師論) 鈴木 廣志
 - 同 (基礎経営学) 太原 正裕
 - 同 (日本史特殊講義) 多和田真理子
 - 同 (教育方法技術論) 外池 萌彩
 - 同 (解剖生理学) 山口 俊平
- ◆退職 令和6年3月31日付
 - 教授 (スポーツ健康科学) 石山 育朗
 - 同 (図書館概論) 内野 安彦
 - 同 (教師論) 倉持 博
 - 同 (図書館情報技術論) 篠塚富士男
 - 同 (日本語表現法) 村山 昌俊
 - 講師 (教育方法技術論) 平岡 秀美
 - 非常勤講師 (日本史特殊講義) 岩橋 清美
 - 同 (調理実習) 小川 聖子
 - 同 (衛生学) 齊藤 浩
 - 同 (保育学) 野城 尚代
 - 同 (介護論) 人見ケエ子
 - 同 (図書・図書館史) 藤森 馨
 - 同 (住居学) 目黒 浩
 - 同 (解剖生理学) 盛川 宏

■ 行事・集会 ■

- 4月3日 日本文学F研修
 - 5日 第59回入学式・2年生成績表交付
 - 6日～10日 オリエンテーション・健康診断
 - 11日 授業開始
 - 15日 履修届登録締切
 - 17日 教育実習ガイダンス
 - 23日 1年生日光親睦旅行
 - 27日 教員採用模試・保育士就職模試・幼稚園就職模試
 - 29日 授業見学会
- 5月8日 奨学生授与式・表彰式
 - 15日 春セメスター授業取止期限 体育祭
 - 22日 避難訓練
 - 25日 オープンキャンパス
 - 29日 日本史F卒業生からのメッセージ
- 6月1日 日本史F学芸員課程博物館実務見学実習
 - 3日～21日 幼稚園・小学校・養護教諭教育実習
 - 3日～28日 中学校(教科)教育実習
 - 5日～7日 子ども教育F1年生夏期教育研修
 - 6日 生活健康F1年生研修会 高等学校教員対象入試説明会
 - 15日 日本語検定試験
 - 19日 1年生進路支援ガイダンス
 - 20日 生活健康F1年生二杉幼稚園観察
 - 22日 オープンキャンパス
 - 26日 日本文化学科講演会
 - 27日 1年生観劇会

- 7月13日 オープンキャンパス
 - 17日 國學院大學系列編入学ガイダンス
 - 18日～31日 授業アンケート
 - 24日 授業見学会
- 8月1日 日本文学F・言語文化F1年生 図書館司書課程栃木市立図書館見学
 - 1日～3日 集中講義・補習講義
 - 2日 日本史F・生活健康F中学生・高校生のためのサマースクール
 - 3日 オープンキャンパス
 - 5日～6日 春セメスター試験
 - 11日～9月13日 夏季休暇
 - 17日～31日 子ども教育F2年生幼保専攻 保育実習Ⅰ(施設)
 - 19日～31日 生活健康F2年生病院実習
 - 19日～23日 北寺遺跡発掘調査 (栃木市都賀町)
 - 22日 春セメスター成績発表
 - 28日～30日 春セメスター追再試験
 - 31日 オープンキャンパス
- 9月2日～4日 生活健康F2年生医療秘書集中講義
 - 3日～6日 言語文化F1年生國學院大學 経済学部編入学希望者サマセッション
 - 4日 子ども教育F1年生幼保専攻 保育所観察
 - 5日～7日 集中講義・補習講義
 - 6日 秋セメスター履修届登録締切
 - 11日 子ども教育F栃木市立小野寺 小学校表現活動交流会
 - 12日・13日 生活健康F養護教諭課程学校観察
 - 13日 日本史F1年生史跡調査研修
 - 14日 秋セメスター授業開始
 - 19日～10月4日 子ども教育F2年生幼保専攻 保育実習Ⅱ・Ⅲ
 - 23日 授業見学会
- 10月9日 学園創立64周年記念日
 - 11日 奉告祭・永年勤続表彰
 - 12日 生活健康F2年生医療管理秘書士認定試験
 - 16日 日本史F卒業生からのメッセージ
 - 子ども教育F教育実習報告会・引継ぎ会
 - 生活健康F教育実習報告会
 - 18日 秋セメスター授業取止期限
 - 19日 生活健康F2年生医療情報事務士認定試験
 - 26日・27日 第56回回天祭
 - 27日 斯花会ホームカミングデー
- 11月6日 2年生教員免許状一括申請ガイダンス
 - 7日 子ども教育F1年生保育実践交流会
 - 13日 日本文化学科講演会 子ども教育F卒業生講演会
 - 20日 人間教育学科講演会
 - 27日 学校推薦型選抜・総合型選抜・自己推薦型選抜・社会人特別選抜入学試験
- 12月2日～4日 日本文学F2年生卒業研究提出
 - 3日・4日 日本史F2年生卒業研究提出
 - 4日 斯花会奨学生授与式 國學院大學系列編入学合格発表 1年生とちぎ消費者カレッジ 2年生健康セミナー 学生生活実態調査
 - 7日 生活健康Fファッション販売能

- 力検定試験
 - 11日 生活健康F先輩体験伝授
 - 15日 生活健康F2年生フードスペシャリスト認定試験
 - 18日 日本史F編入生交流会
 - 19日～21日 集中講義・補習講義
 - 21日 日本文化学科教育実習報告会・引継ぎ
 - 23日～25日 子ども教育F2年1組・生活健康F2年生日本赤十字救急法基礎講習・救急員養成講習
 - 26日・27日 子ども教育F1年2組・2年2組日本赤十字社幼児安全法支援員養成講習
 - 28日～1月5日 冬季休暇
 - 1月6日 授業再開
 - 6日～20日 授業アンケート
 - 8日 2年生労働講座 卒業前ガイダンス
 - 17日 子ども教育F2年生卒業研究・制作提出
 - 18日 子ども教育F2年生・生活健康F1年生保健児童ソーシャルワーカー認定試験
 - 21日～24日 集中講義・補習講義
 - 24日 子ども教育F栃木市立小野寺 小学校表現活動交流会
 - 27日～29日 秋セメスター試験
 - 2月3日～18日 子ども教育F1年生幼保専攻 保育実習Ⅰ(保育所)
 - 4日 子ども教育F実習連絡協議会
 - 5日 日本史F卒業研究発表会
 - 5日～7日 生活健康F1年生医療秘書集中講義
 - 12日 一般選抜科目試験型【A日程】・大学入学共通テスト活用型・奨学生・自己推薦型選抜・社会人特別選抜入学試験
 - 12日～18日 子ども教育F1年生小幼専攻 教育実習ⅡA
 - 13日 秋セメスター成績発表
 - 15日～20日 秋セメスター追・再試験
 - 21日 卒業確定者発表
 - 25日～3月3日 子ども教育F1年生幼保専攻 教育実習ⅡA
 - 3月4日 一般選抜科目試験型【B日程】・大学入学共通テスト活用型・國學院大學受験者対象・自己推薦型選抜・社会人特別選抜入学試験
 - 7日 子ども教育F1年生幼保専攻 児童福祉施設等見学
 - 13日 卒業式予行
 - 14日 第58回卒業証書・学位授与式
- 本学および関係者出版紹介
- 國學院大學栃木短期大学紀要第58号
 - 日本文化研究第9号
 - 國學院大學栃木短期大学日本文化学科 日本文学フィールドあぢさる坂第23号
 - 夏期教育研修の記録第55集
- 令和6年度クラス担任
- | | |
|--------------|----------|
| 1年生 | 2年生 |
| 日本文化1組 岩渕 真未 | 1組 津島 昭宏 |
| 2組 岩井 千華 | 2組 塚越 義幸 |
| 3組 藤掛 登 | 3組 秋山 誠一 |
| 4組 中 大輔 | 4組 内山 京子 |
| 5組 菱沼 一憲 | 5組 渡辺瑞穂子 |
| 人間教育1組 早川富美子 | 1組 島田 芳行 |
| 2組 名取 初穂 | 2組 出井 芳江 |
| 3組 真田知恵子 | 3組 永瀬由美子 |

第58期生の皆さん ご卒業おめでとうございます

卒業生と大学との連絡窓口は教学部です
各種証明書の交付申請等については
本学Webサイト【卒業生の方】事務局告知版をご覧ください
図書館は卒業後もぜひご利用ください

あの日、あの場所…



春に綺麗に咲き誇る中庭の桜



西3号館渡り廊下から
ふと窓に目を向けると満開の桜



四十周年記念館への道
スポーツでリフレッシュ!



西1号館



西2号館



西3号館



秋に綺麗に色づく楓
朝日がさしている時が最高!



初夏を感じさせる満開のつつじ



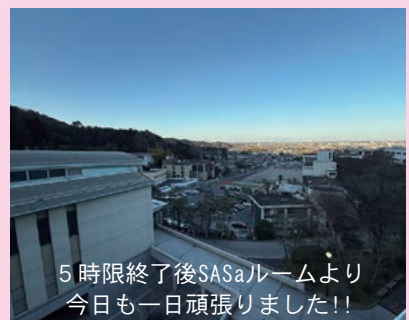
バス停から校舎へ向かう坂道
毎日がトレーニング?!



自転車置き場から校舎への道
あともうひと頑張り!!



西3号館バルコニーより
近年は稀な雪景色



5時限終了後SASaルームより
今日も一日頑張りました!!